

1 授業のねらい

世の中は「自分の思い通りにいくものではない!」ということを理解しなければ、社会生活を成り立たせることは出来ない。では、どうすれば良いのか?—そんな疑問が起きた時こそ「社会学」の世界に足を踏み入れる良い機会だと思う。本講義では、聴講者にとって身近な話題を客観的に考察出来るよう配慮する。

2 授業の計画

我々は「社会」という舞台の上で「人間らしく」振る舞う(演技する)ことを期待されている。ナースは病院・病棟において「ナースらしく」振る舞う(演技する)ことが求められる。このように、日常生活における望ましい「人間関係」構築のための基礎知識・技術を身につけるため、主として「社会」と「人間」のかかわりから必要とされる「役割演技論」について講義する。

| | |
|---------------------------|-------------------|
| 社会学の基礎づくり | ガイダンス |
| | 仲間意識と状況(状況)判断 |
| | 社会的動物としての人間 |
| | 実験演習Ⅰ |
| コミュニケーション | 概説 |
| | 構造と原理 |
| | 問題点 |
| | 実験演習Ⅱ |
| Human Being 人間関係の諸相と構造 | 概説 |
| | 地位と役割 |
| | 医療における地位—役割 |
| | アイドル工学 |
| ストレス社会 | 実験演習Ⅲ |
| | ストレスの要因 |
| | ウチとソトのはざま(日常と非日常) |
| | カウンセリングとストレス忘却 |

3 教科書

☆「人間生活の理論と構造」夏川康男(ほか)著 学文社 2,625円(税込)(送料390円)

4 参考書

☆「補強板 ストレス・スパイラル—悩める時代の社会学」服部慶亘著 人間の科学社(必携) 1,260円(税込)(送料340円)

5 成績・評価

評価は、終講試験と平常点による。なお、(理由もなく)出席状況の悪い学生には単位認定しないが、「出席」の実績だけを考えているような学生の参加も歓迎しない。講義で語られた事象を「実践」しようとする、志の高い学生の参加を希望する。